

試験番号： IVB - 99 - 166

受付日： 平成 12 年 2 月 25 日

吹込み用セルローズファイバー断熱材の

断熱性能試験報告書

試験結果は、本報告のとおりであることを証明します。

平成 12 年 3 月 27 日

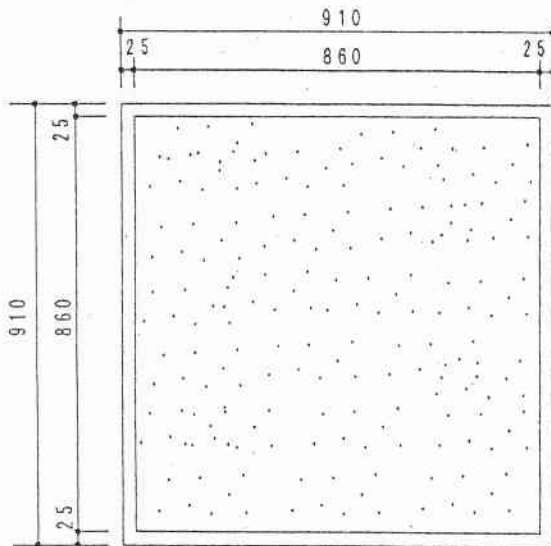
財団法人 日本建築総合試験所
所 長 工学博士 森 司 郎

技術管理者
環境試験室長 工学博士 森 司 郎

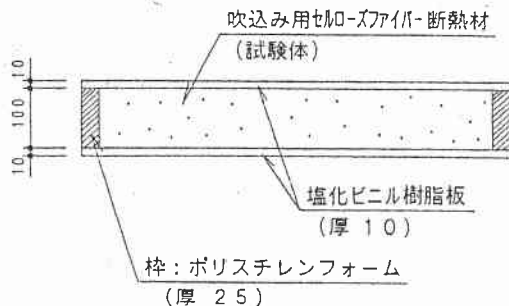
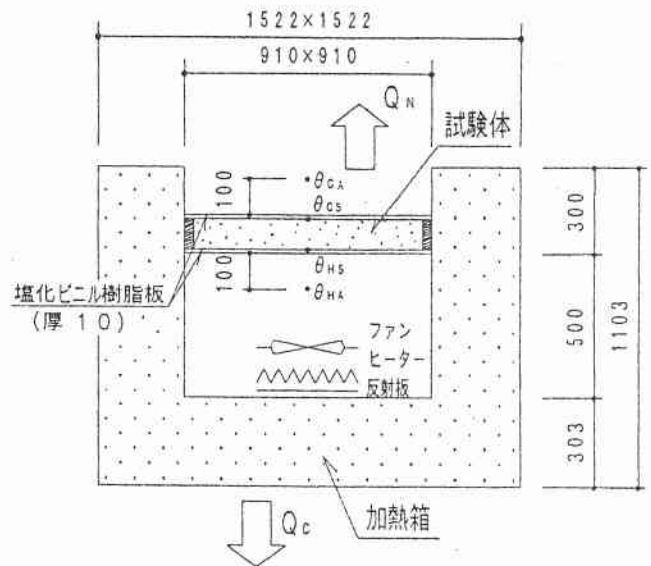


依頼者	会社名	吉水商事株式会社		
	所在地	福井県福井市中央3丁目2番15号		
試験	材料名	吹込み用セルローズファイバー断熱材		
	商品名	ファイバーエース LFG		
	製造会社名	吉水商事株式会社		
	製造年月日	平成12年2月8日		
	ロット番号	120208		
	実測寸法	860 × 860 × 厚さ 100 mm	公称厚さ	100 mm
	実測密度	測定直前 23.7 kg/m ³ 測定直後 23.6 kg/m ³	公称密度	25 kg/m ³
	含湿状態	気乾 ¹⁾		

[試験体概要]



[試験装置・温度測定位置図]



- 加熱箱 : ポリスチレンフォーム 厚300
内法寸法 910×910×500
- 試験体姿勢 : 水平
- 熱流方向 : 上向き
- 表面風速 : 冷却側 0.5m/sec以下
加熱側 0.5m/sec以下

試験実施場所 : 第4熱実験室 (20°C、55%RH)

(寸法単位: mm)

試験方法

JIS A 1420-1994「住宅用断熱材及び構成材の断熱性能試験方法」による。

断	試 験 年 月 日		平成 12 年 3 月 6 日			
	測 定 回		第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回
熱	発 熱 量 Q_H (W)		16.6	16.6	16.6	16.6
	加熱箱周壁からの流出熱量 Q_C (W)		11.7	11.7	11.7	11.7
	試験体通過熱量 $Q_N=Q_H-Q_C$ (W)		4.9	4.9	4.9	4.9
性	冷却側空気平均温度 θ_{CA} (°C)		14.3	14.3	14.3	14.3
	試験体表面 平均温度	冷却側 θ_{CS} (°C)	15.6	15.6	15.6	15.6
		加熱側 θ_{HS} (°C)	33.5	33.5	33.5	33.5
能	加熱側空気平均温度 θ_{HA} (°C)		34.8	34.8	34.8	34.8
	試験体平均温度 $(\theta_{HS}+\theta_{CS})/2$ (°C)		24.6	24.6	24.6	24.6
	試験体表面平均温度差 $\theta_{HS}-\theta_{CS}$ (°C)		17.9	17.9	17.9	17.9
試	熱箱内外空気平均温度差 $\theta_{HA}-\theta_{CA}$ (°C)		20.5	20.5	20.5	20.5
	試験体熱流通過面積 A (m ²)		0.7396 (0.860×0.860)			
	熱 貫 流 率 $K=Q_N/((\theta_{HA}-\theta_{CA})\cdot A)$ [W/(m ² ·K)]		—	—	—	—
結	熱 コ ン ダ ク タ ン ス $C=Q_N/((\theta_{HS}-\theta_{CS})\cdot A)$ [W/(m ² ·K)]		0.37	0.37	0.37	0.37
	熱 貫 流 抵 抗 値 $R=1/K$ (m ² ·K/W)		—	—	—	—
	熱 抵 抗 値 $R_c=1/C$ (m ² ·K/W)		2.70	2.70	2.70	2.70
備 考	<p>1) 試験体は当所に搬入後、20°C、55%RHの恒温恒湿室内にて10日間、気乾養生した。</p> <p>・単位の換算：1W=0.86 kcal/h</p> <p>・相当熱伝導率 = 実測厚さ/平均熱抵抗値 = 0.1/2.70 = 0.037 [W/(m·K)]</p>					
試 験 機 関 名	財団法人 日本建築総合試験所 建築物理部 環境試験室 所在地：大阪府吹田市藤白台5丁目8番1号					
試 験 責 任 者	室長代理：倉 橋 岩 夫					
試 験 担 当 者	主 査：小 南 和 也					